



関東や関西でご活躍されている熊本出身や熊本にゆかりのある経済界の皆様から届いた、熊本への想いや提言などを掲載して好評をいただいている「ふるさとへの便り」。

今回は、八代市出身で現在は、三井ホーム株式会社代表取締役社長としてご活躍されている市川俊英さんがご寄稿くださいました。

熊本への恩返し

私は八代市の生まれで太田郷小学校、八代第二中学を卒業し、熊本高校から一橋大学を卒業後、三井不動産株式会社に入社しました。不動産業はオイルショック直後で、大変苦境に立たされていましたが、ものづくりと新宿三井ビルで働くかつこよさに惹かれて入社した次第です。入社後は関東での仕事が多くなり、熊本や八代とは残念ながらほとんど仕事での接点はありませんでした。住宅開発、ビル事業、などを経て2001年9月からは六本木の東京ミッドタウンの開発事業に携わり、昨年まで担当しておりました。

ミッドタウンに関わった頃から東京在住

の高校同級生の集まりにも顔を出すようになり、少しずつではありますが、心の中に再度熊本が身近になって来ました。ミッドタウンがオープンして1年くらい経った頃、

たまたま蒲島知事の自叙伝を読んで感銘をうけ、ふるさとにも素晴らしい方がおられると思っていました。ふるさとに少しでも恩返しをしたい想いもあり、ミッドタウンの一角で熊本県を紹介するイベントのお手伝いをさせていただいた思い出があります。テレポートという仕事の関係で国内外の街や施設などを視察する機会に恵まれましたが、そのなかで感じたことはどの土地にも個性があり独自の魅力があるということです。日常暮らしている人々には当たり前のことがありますが、外の人にはとても魅力的に感じることがあります。これまでの経験から、

まち興しや地域活性化のスタートはまず「価値発見」ではないかと思っています。借越ではありますが経験がお役に立てばと述べさせていただきます。

現在は三井ホーム株式会社の社長として全国を飛び回っています。熊本には素晴らしい方がたくさん住んでおられますので、3年前一度撤退した熊本に今春営業所を再開させ、熊本の皆様に三井ホームの価値を提供させていただければと思っています。同級生からもさっそく注文いただき感謝しております。私も今年でちょうど還暦を迎えます。まだまだふるさとの方々に恩返しができるかと思っておりますので、今後とも何とぞよろしくお願いいたします。



市川俊英さん
(八代市出身)



今月の送信者

三井ホーム株式会社
代表取締役社長

経歴

- 昭和29年9月生まれ
- 昭和52年3月 一橋大学商学部卒業
- 昭和52年4月 三井不動産株式会社入社
- 平成15年4月 六本木プロジェクト推進部長
- 平成17年4月 執行役員、六本木プロジェクト推進部長
- 平成20年4月 常務執行役員、東京ミッドタウン事業部長
- 平成23年6月 常務取締役、アコモデーション事業本部長
- 平成25年6月 三井ホーム株式会社代表取締役社長

会社概要

社名：三井ホーム株式会社
本社：東京都新宿区西新宿2丁目1番1号新宿三井ビル53階
設立：昭和49年10月11日
資本金：139億70万円
従業員数：2,266名(平成26年4月1日現在)
事業内容：専用住宅及び、事業用建物等の受注・設計・施工、リフォーム事業、他



▲熊本営業所開設に際し、蒲島知事へご挨拶に伺いました